

## 第3回会員全体会議

開会の挨拶（海風敏夫 副会長）

開会の宣言

伊藤富美雄会長挨拶

寒い中、御出席していただき感謝します。保存会も3年を経過し順調に事業展開してきました。今後も様々な課題で活動して行くが、会員のご協力と会議での活発な討議をお願いしたい。

座長選出・同挨拶（富田 漣 副会長）

かなりのボリュームの議題が控えているのでよろしくをお願いしたい。事務局から議題に沿って事務局から提案されたい。

議題 1 「鹿嶋祭座談会報告集」の完成報告（事務局長 藤枝隆博から提案）

※資料の訂正と字句修正。読み上げて提案された。

- (1) 平成25年11月16日開催の鹿嶋祭保存会座談会を開催し、4氏のパネラー（大門勲男氏、大塚正一氏、今野正人氏、黒澤正弘氏）による座談会を行いました。事務局では、「鹿嶋祭保存会座談会報告集」として原稿化し、パネラーと2回にわたる校正作業を経て、2月下旬完成し印刷作業（秋田中央印刷）に移りました。単価100円×600冊＝60,000円、値引き後、50,000円。（単価83円）
- (2) 「報告集」の配布は以下の通りです。①会員に1冊（74冊）、②鹿嶋祭参加町内会に、班数（394冊）を基準に配布します。③栗田養護学校に10冊、④その他（100冊）、日吉神社及びウエスターに備えます。
- (3) 「報告集」発行予算を4万円（2/17三役部会合同会議）としていたことから、1万円の過剰金が発生しました。そこで、全体会議参加の会員に対してカンパのご協力をお願いします。（カンパ目標額 300円～）
- (4) 「報告集」を事務局で保存会資料として22部を保管します。
- (5) その他（記念品贈呈）

※会場でカンパを呼びかけたところ、38700円余が参加者から寄せられました。パネラーへの記念品については事務局で協議し贈呈する。

議題 2 各部報告と今後の活動内容（各部から資料に沿って提案された。5～7分以内）

- (1) 事業部（会場配布資料の通り。狩野紀男副部長）
- (2) 製作部（会場配布資料の通り。國安昭部長）
- (3) 調査研究部（会場配布資料の通り。金沢國太郎副部長）
- (4) 実技部（口頭説明、鈴木富夫部長）  
特に会議は開催していない。今年も鹿嶋太鼓の練習日を設ける。後の議題。
- (5) 広報部（会場配布資料及びプロジェクターで高橋伸部長の報告）

※ 「模範的な鹿嶋船の製作」に関する討議は「議題3」で集中審議した。

※小野均会員から「秋田市無形文化財としての登録指定」に関連した発言があった。

「国際教養大学で秋田の民族芸能300以上を集めた2分間の「アーカイブス」を見たが、川尻、檜山鹿嶋祭はあったが新屋鹿嶋祭がなかった。他の鹿嶋祭はお囃子が統一しているぐらいで、他の地域の鹿嶋祭に引けをとらない新屋の船や祭りである。なぜ新屋鹿嶋祭が入っていないのか質問状を出したらどうか。」と意見があった。関連して渡辺憲一会員からも「保存会等の組織の有無が背景にあるのではないか」の関連質問があった。金澤國太郎調査部長から「鹿嶋祭は芸能ではない。太鼓、お囃子がしっかりしているところが文化財指定となっている。新屋鹿嶋祭の太鼓がない時期が一時あったので指定されていない。」との説明がされた。富田副会長（座長）からは「文化財指定については今後の課題として議論していく」と回答がされた。

### 議題 3 「模範的な鹿嶋船の製作と展示活動」について

#### 【鹿嶋船制作に至るまでの報告】（事務局長 藤枝隆博から提案）

1. 平成23年11月20日「新屋鹿嶋祭保存会」に発足した。  
製作部会の活動の目標を次の通りとした。
  - (1) 鹿嶋人形、鹿嶋船、その他祭りに関する製作物の調査、研究。
  - (2) 各町内会の鹿嶋人形、鹿嶋船など製作物に関する調査、研究。
  - (3) 鹿嶋船、鹿嶋人形の歴史的意義、時代の変化など調査、研究、発表。
2. 制作部会（平成24年4月15日部会議）では、「新屋鹿嶋祭が、秋田市の無形民俗文化財に指定を受けていない要因、原因を調査、研究する」ことを確認した。理由として、「諸説には、鹿嶋船、武者人形、鹿嶋人形等々、正しい形が崩れている」が一因ではないか、原因を明らかにする必要があるかと思う。
3. 制作部会の提起を受けて、保存会では平成24年～25年間、各町内の鹿嶋船の写真収集を行い、同時に古い写真の提供を町内に要請した。その他、残された文献、資料の収集を行ってきた。
4. 最も一般的、標準的(最大公約数的)な「鹿嶋船」の形を研究(勉強)することを当面の目標とした。将来的に、製作部会で考えた「鹿嶋船」を制作し、最終的に、適当な場所に展示することを目標とすることが確認された。
5. 平成25年、国立民族博物館所蔵の「鹿嶋船」(写真)「図面」を入手した。また、デザイン画を栞谷博英氏(会員)に依頼し、基本的なデッサン画が完成した。制作部では、これらを「最も模範的な鹿嶋船」と位置づけた。
6. 保存会では、制作部会の「模範的な鹿嶋船の制作」について報告を受けた。同時に、「鹿嶋船の制作には、保管場所の確保と展示方法」「制作における財政的裏付け」について決定しなければ着手できない旨の問題提起がされた。
7. 展示場所の候補は次の通り
  - (1) 日吉神社境内

(2) 西部市民サービスセンター2階展示場（現在、森川源三郎資料展）

(3) 新政酒造跡地（展示倉庫）

（留意点と課題）

(1) 日吉神社境内（実物大を前提）

- ・日吉神社境内であり他の建物との調和と景観を損ねない建物、展示倉庫としての配慮。
- ・宮司及び神社側（氏子総代会等）の承諾
- ・建設費と資金調達の方法

(2) 西部市民サービスセンター

- ・スペースを考慮したサイズ（原寸大から縮小版）。
- ・西部市民センターとしての配慮（「西部地区民族芸能の展示会場」
- ・センターとの事前折衝（2/14、2/28）と三役面会（3/5 15:00）
- ・地域づくり交付金の活用（製作費）と資金カンパ

(3) 新政酒造跡地

- ・跡地利用の方向性（新屋振興会、秋田市議会の動向）
- ・西部市民サービスセンター田畑副所長からのメモ（参照）
- ・鹿嶋祭（平成26年6月8日）にあわせたイベント  
※早期関係協力団体「実行委員会」設立。（別に議題として討議）

※國安昭製作部長から「鹿嶋船制作の中間報告と今後の方向性」について提案報告がされた。

（質問 大島正美会員）鹿嶋船を作るとすればどれぐらいの予算が要するのか？日吉神社、新政跡地といっても鹿嶋船をみせる最良の場所は市民センターではないか。神社及び氏子の了解は難しいのではないか。」

（藤田会員）市営住宅で鹿嶋船を新作したら40万以上かかる。

（事務局答弁）「製作部会の活動報告」「鹿嶋船制作の中間報告と今後の方向性」を尊重し、本日の会議の総意として、西部市民サービスセンター（2階）を展示場とすることを前提に鹿嶋船の制作に取り掛かることを決定したい。制作部をはじめ保存会会員から広く人材を募り、「制作実行委員会」を立ち上げる。

議題 4 「平成26年度鹿嶋祭」に向けた取り組み（事務局長 藤枝隆博から提案）

祭典日時 平成26年6月8日（日）

(1) 市民センター発案「鹿嶋祭 PR イベントについて」（別紙）

(2) 2/27「準備会議」の報告

（小島初男事業部長から「鹿嶋祭 PR イベントについて」（試案）に沿って会議報告を受ける。）

① 商店街・・・会場にてジュース提供

② チャプ大・・・湧水を活用した飲物、豆腐、うどん提供

- ③ 小牟禮教授・・・ガラス作品の展示、提供。
  - ④ 雄和、川辺他・・・農産物、山菜等の販売
  - ⑤ 十條化成・・・白神酵母パンの販売、PR
  - ⑥ その他・・・フリマ、ケータリング（自動車屋台）協会による飲食物の提供
  - ⑦ 地域づくり交付金の活用を検討していく。
  - ⑧ 当番町の了解を得ながら実行委員会主体で実行
- (3) 参加団体（新屋振興会、参画屋、チャプチャプ大学、鹿嶋祭保存会）の実行委員会発足に向けて
- (4) 26年度鹿嶋祭当番町（南新町）と鹿嶋祭保存会との懇談会の開催
- (5) 「2014年鹿嶋祭ポスター」制作に向けて  
「シェア・アトリエ」代表 永沢碧衣さん（秋田美術大学学生会）に依頼している。
- (6) 「新屋まちづくり基本構想作成ワークショップ」へのアプローチ  
(事務局答弁)
- ① 鹿嶋祭イベントを実現させる方向を確認する。
  - ② 実現に向けて関係団体との早期実行委員会の開催を図る。
  - ③ 南新町当番町には負担をかけないで、参加町内会から協力員等を募って実行委員として派遣していく。
  - ④ 鹿嶋祭参加町内会にはイベントの趣旨を説明し、巡航経路にイベント会場を立ち寄ることを要請していく。
  - ⑤ 「6.8鹿嶋祭イベント」を通じた「新屋まちづくりとにぎわいづくりのイベント」として位置づけ、楽しみ、交流する一日とする。
  - ⑥ 「新屋まちづくり基本構想作成ワークショップ」との関連で鹿嶋祭保存会もその一翼を担って行くが、議会の動向（予算化等）もみながら対応していく。

議題 5 今後の鹿嶋祭保存会の会議・予定

(1) 鹿嶋祭の唄と太鼓の練習

日 時 4月20日（日）10:00～12:00

会 場 日新小学校体育館

練習方法 太鼓の練習

参加町内会に案内文書を発送する。

※町内会総会、行事、遊山（子供会）等の日程をみながら参加町内会に練習への参加を呼びかける。

(2) 第2回理事会の開催予定

日 時 7月10日（木）18時  
会 場 ウエスター  
議 題 ① 今年の鹿嶋祭の反省  
② 第4回定期総会日時と議案討議  
③ 会計監査報告  
④ 鹿嶋祭保存会の事業計画作成  
⑤ 鹿嶋祭保存会の運営と役員体制について

※会計報告及び監査は、役員、担当者間で日時を調整し決定する。

(3) 第4回定期総会の開催予定

日 時 7月 27日（日） 16時  
会 場 ウエスター

※ 会計期間（7月1日～翌年6月30日）を考慮した日時の設定とした。

（その他）

① 國安明製作部長より「製作部」の文字について、提案がされた。

「製作：道具機械や映画、演劇、放送番組をつくる。」「制作：絵画や彫刻等の芸術作品をつくる。」の意味なので、鹿嶋祭保存会の「製作部」を「制作部」に変更すべきではないか」との意見が出された。

藤枝隆博事務局長からは「意味合いからすれば船、鹿嶋人形、搭載物等の制作となるので『制作部』が正しいと思われる。保存会の会則等の関連があるので総会で改正したい」との考えが示された。

② 「新屋鹿嶋流し保存会」が千葉県佐倉市の「国立歴史民族博物館」に納めた鹿嶋船に関して当時の経過報告がされた。また、無形文化財に関する条件等も私見も含めて報告された。

以上

## 鹿嶋保存会 「平成25年度事業部会まとめ」

平成26年2月28日

事業部長

小島 初男

### 活動報告：

鹿嶋祭保存会及び当番町連絡調整会議 平成25年4月20日 事業部代表出席  
第7回事業部会議開催 平成25年 5月13日 第6回事業部会議事録承認  
鹿嶋祭保存会三役各部会合同会議 平成25年 6月 4日 事業部代表出席  
第8回事業部会議開催 平成25年 7月16日 第7回事業部会議事録承認  
第1回理事会 平成25年 7月19日 事業部の理事出席  
第3回通常総会 平成25年 8月 4日 事業部会員出席  
第9回事業部会議開催 平成25年 9月 9日 第8回事業部会議事録承認  
鹿嶋祭保存会三役各部長副部長合同会議 平成25年 9月17日 事業部代表出席  
写真資料展 ウエスター祭りに準備・参加 H.25.10.9~H.25.10.14 事業部代表参加  
鹿嶋祭保存会三役各部長副部長合同会議 平成25年10月16日 事業部代表出席  
第10回事業部会議開催 平成25年10月28日 第9回事業部会議事録承認  
鹿嶋祭保存会座談会 平成25年11月16日 事業部代表参加（開閉言葉・受付）  
第11回事業部会議開催 平成26年 2月10日 第10回事業部会議事録承認  
鹿嶋祭保存会三役各部代表者会議 平成26年 2月17日 事業部代表出席  
第3回会員全体会議 平成26年 3月 9日 事業部会員出席予定

### 総括：

事業部会議を5回開催し、2大事業開催や今後の活動を議論しあえた。25年度の鹿嶋祭保存会主催の2大事業が成功裏に開催終了を見た。ウエスター祭での写真展を秋田銀行新屋支店内でも引き続きの開催は良かった。座談会は好評だったが集客不足だった。鹿嶋祭の実行当番町との連携が上手く図れなかった。

### 26年度の活動計画

- ・地域づくり交付金制度を活用しながら縮小版鹿嶋船の製作と常時展示を完結させる。
- ・新屋酒造跡地利用に鹿嶋祭保存会も参画・PR、跡地利用実績作りを模索する。
- ・将来目標には実寸の「模範的な鹿嶋船」の製作と展示建物確保を模索する。
- ・美術工芸大学生との交流と鹿嶋祭への参加支援、保存会員等の勧誘と共存？
- ・その他

——— 以上 ———

## ★新屋鹿嶋祭保存会 会員全体会議資料 広報部報告★

平成 26 年 3 月 9 日(日)

◇広報部長 高橋 伸

### ◆広報部会 平成 25 年度 活動実績

#### ▼地域づくり交付金が全額交付決定

- ・幟旗を作成(4本)
- ・「新屋鹿嶋祭保存会」の名入りで、半纏を作成(8枚)

#### ▼ホームページの運用

- ・年度替わりにより、各部の画面を一新しました。
- ・各部の会議の予定や実績の議事録を随時更新。
- ・写真展より100枚を限定して、デジブックで世界に公開中。
- ・古い写真を64枚集めて、デジブックで世界に公開中。(座談会の背景として使用)

#### ▼「鹿嶋さんニュース」を発行

- ・鹿嶋さんニュース 7号(平成25年9月10日発行)全町回覧  
内容:鹿嶋祭本番、第3回総会など
- ・鹿嶋さんニュース 8号(平成25年10月20日発行)全町回覧  
内容:写真展の報告と、第2弾開催中、座談会の案内など

#### ▼写真展2013

- ・栗田養護学校と20の町内から提供された写真で、写真展を開催。(約250枚印刷)
- ・約1300枚もの写真を入れたDVDを作成し、写真資料として各部と各町内に配布した。

#### ▼座談会2013

- ・駅前町内会長の高橋昭一氏より提供された鹿嶋祭最古と思われるビデオを編集して、座談会の背景として使用。

## ◆ 広報部会 平成25年度 活動予定

### ▼ マスコミに売り込む

\* 本番の鹿嶋祭もさることながら、具体的なイベントが有るとき（歌と太鼓の練習会など）に、マスコミに来てもらう。

### ▼ 今年も「新屋鹿嶋祭」のポスターを作成

\* 秋美の学生さんに製作してもらう。（キャッチフレーズ／ロゴ＝募集）  
： 予算化：150枚で3万円＝地域づくり交付金使用

#### 《予定》

- ・ 3月31日：秋美ポスターデザイン完成
- ・ 4月5日：部会開催
- ・ 4月9日：印刷見積もり
- ・ 4月15日：印刷を発注
- ・ 4月20日：ポスターの掲示開始

### ▼ 保存会を代表して、地域づくり交付金を申請（5月末）

#### 《予定》

- ・ 製作部 模範的な鹿嶋船の制作（縮小版）＝20万円
- ・ 広報部 ポスター掲示150枚（先行印刷）＝3万円
- ・ 〃 「鹿嶋さんニュース」の発行（年3回／全町回覧）＝5万円
- ・ 事務局 去年造った型で半纏を追加（16枚）＝12万円  
\* これで去年の8枚を足すと、合計24枚となる

～～ 以上 ～～





## 製作部会活動報告

開催日時 平成26年3月9日(日)15時30分  
開催場所 西部市民サービスセンター3階洋室4

※ 平成25年2月9日西部サービスセンターで開催された第2回全体会議以降の報告となります。

### 1・3月31日(日)保存会三役及び部会代表者合同会議開催

製作部会出席数2名

第2回全体会議議事録、会員名簿の報告に引き続き、協議事項を①地域づくり交付金の申請について②鹿島太鼓練習とCD交付について③新屋鹿嶋祭保存会ホームページの立ち上げについて④平成25年度鹿嶋祭に向けたとりくみについて⑤「鹿嶋祭りを語る会」【仮題】(講演、発表、座談会など)の開催について

⑥鹿嶋船の製作に向けた取り組みについて⑦その他 とした。

### 2・5月9日(木)第4回製作部会議を開催

出席者数9名のほか会長、事務局長、広報部長 計12名

協議事項を①今年の活動目標の確認について②具体的方法について③その他 とした。

### 3・6月4日(火)保存会三役各部合同会議を開催

製作部会出席者数5名

協議事項を①平成25年鹿嶋祭に伴う資料展示会の準備について②「地域づくり交付金」の進捗状況について③その他 とした。

### 4・8月4日(日)新屋鹿嶋祭保存会第3回定期総会が開催された。

議案書に基づき協議し、全議案について原案のとおり承認された。

(詳細は略)

### 5・9月17日(月)三役・各部部長副部長合同会議開催

製作部出席者数3名

協議事項を①ウエスター祭り「写真・資料展」の開催に向けて②「鹿嶋祭座談会」の開催に向けて③各部の活動計画について④その他 とした。

6・10月9日から13日まで、ウエスター祭の「鹿嶋祭保存会ブース」の作製準備と展示場の当番、後片付け、反省会等の行事に参加した。

### 7・10月16日(水)三役・各部部長副部長合同会議開催

製作部出席者数1名

協議事項を①10月11日～13日まで開催された「ウエスター祭り」の報告②「地域づくり交付金」の購入品目と中間決算報告③「鹿嶋祭座談会」の開催に向けて④鹿嶋船の製作構想について⑤その他 とした。

- 8・10月15日(火)～11月29日(金)秋田銀行新屋支店で「鹿嶋保存会展示物ブース」設置、作品展示及び期間終了時の撤収作業を行う。
- 9・10月22日(火)第5回製作部会議を開催した  
出席者数14名のほか会長、事務局長、広報部長、舩谷博英氏 計18名  
協議事項を①製作部会役員改選について②模範的鹿嶋船の製作について③その他とした。
- 10・11月16日(土)新屋鹿嶋祭保存会・座談会開催  
保存会会員が出席した。
- 11・11月19日「国立歴史民俗資料館長」宛、所蔵品の新屋鹿嶋船について写真撮影提供について「資料特別利用申請書」を提出した。
- 11月27日付、同上所長から①資料写真等使用許可書②CD-ROM(3点分入)③手製・鹿嶋船図面「国立歴史民俗博物館」提供の送付があった。
- 同時期、同上写真を基に、保存会実技部所属会員舩谷博英氏(南団地町内会)作成の鹿嶋船デザイン図の提供があった。
- 12・12月14日(土)第6回製作部会議を開催した  
出席者数10名、会長、事務局長、広報部長、舩谷博英氏 計14名  
協議事項を①「模範的鹿嶋船の製作について」②その他 とした。
- 13・平成26年2月17日(月) 三役・各部部長副部長合同会議開催  
製作部出席者数3名  
協議事項を①「鹿嶋祭座談会報告集」の作成について②「模範的鹿嶋船の製作と展示活動」について③第3回全体会議の開催について④各部会活動業務分担と事務局との係わり範囲の確認⑤鹿嶋の唄と鹿嶋太鼓の指導・伝承方法の課題⑥今年の鹿嶋祭の成功に向けてとした。

以上

# 新屋鹿嶋祭保存会 調査研究部 部会

H26-2-9 広報-6 (ウェスター3F洋5号)

## 協議確認事項 (全部会 11名中8名の出席)

1. 現在保存会でペンディング中のデモ用鹿嶋船の制作と展示場所等についての当部会の対応について。
  - 1) 部会としても船の制作については、保存会の発足の意義を確認するうえで、大きな意味があり全面的に賛同するものであるが、製作する船のベースモデルは、全体会議にて承認確定となってから部会としてサポートすべき面を再協議して対応する。
  - 2) 設計・製作者の人選は、保存会全体で対応すべきであるし、その製作費用も、相応に必要と思われるが、あまりアンチョコなものでのイメージダウンだけは避けたい。佐倉市に展示されているものを参考に、現「ねぶり流し館」に展示されているものを超えるようなものを心がけたい。
  - 3) 展示場所については、市民サービスセンター・日吉神社境内・旧新政跡地などが検討されているようだが、サービスセンターではスペースの問題等で制約があり、西部地域全体の活動拠点の中に新屋地区だけのスペースを要請するのは難しいのではないかと思われる。日吉神社で保管の建物込みにした場合は、費用が掛かり過ぎる心配がある。  
現在市が検討している町おこしの拠点として検討中の「新政跡地」に建てられる予定の箱物の一部を借用する方策が最適と考える。
2. 当部会が引き続き調査研究に取り組むテーマについて。
  - 1) 秋田(百段)に伝わる土着神(道祖神)と鹿嶋さんの関連
  - 2) 子供たちの息災祈願と鹿嶋祭のつながり
  - 3) 土着神(藁人形)が、武者人形(紙人形)となった経緯
  - 4) 笹巻・かしわ餅と鹿嶋さんのつながり
3. その他
  - 1) 当面以上の活動を踏まえ「鹿嶋祭」のルーツについて、史実に基づき時系列に体系化したものを作成し、保存会の共通認識とすべき資料の作成を心がける。
  - 2) 子供たちの息災を町を挙げて祈るといって誇るべく伝統行事を、今少し対外的にもアピールし、町おこしの活性化につなげたい。
  - 3) 長期的活動の指針としては、郷土新屋の誇るべく伝統行事「鹿嶋祭」を、秋田市の無形文化財としての登録を目指すための活動。

以上

## 鹿嶋船制作の中間報告と今後の方向性

「製作部会」

開催日時 平成26年3月9日(日)15時30分

開催場所 西部市民サービスセンター3階洋室4

### 1・鹿嶋船のデザイン化の経過について

- (1) 平成24年2月新屋鹿嶋祭保存会製作部会の発足以来、当面の目標を「模範的鹿嶋船の制作、展示」と定め、数回の部会を開催し、下記の資料を基に協議を重ねてきたが、様々貴重な意見や議論が百出。それなりの手掛かりは得られたものの、鹿嶋船の型を特定することは出来なかった。

「資料」

- ・ 参考文献として、昭和55年川口弥之助氏の著書「新屋語り草」文中の“鹿嶋さん”
  - ・ 例年の鹿嶋祭で各町内が製作し日吉神社に奉納する鹿嶋船とその写真
  - ・ 個人から提出のあった新屋鹿嶋祭に関する古い写真や言い伝え
  - ・ 秋田市民俗芸能伝承館(ねぶり流し館)に展示されている鹿嶋船
  - ・ 県内各地の鹿嶋祭り(鹿島流し)行事に関する新聞記事や、製作部会員の現地調査に基づく報告等々
- (2) 平成25年10月西部市民サービスセンターで開催されたウエスター祭りの際、鹿嶋祭保存会ブースに有志から提出のあった展示品の中に、昭和59年9月27日千葉県佐倉市の国立歴史民俗博物館で撮影された「新屋鹿嶋流し保存会」の下の写真があり、背景に「鹿嶋船」が見えたことから、現在も博物館に同船が保管されているので有れば、何かしらの手がかりになると考え、試しに同館宛に写真撮影等を依頼する「資料利用特別申請書」を提出した。



「国立歴史民俗博物館奉納記念 新屋鹿嶋流し保存会 昭和59年9月27日撮影」

その結果、DVD-ROM(写真3点)と「鹿島流し船複製図面」(手書き)図面の送付があったので、同年12月中旬製作部会を開催し「模範的新屋鹿嶋船」の型について協議したところ、現在までに確認できた中で、最もふさわしいのではとの結論が得られた。

(別添 写真、図面)

- (3) 期を同じくして、同写真を基に、保存会実技部所属会員舩谷博英氏(南団地町内会)にデザイン図の作成を依頼したところ、新屋鹿嶋船の特徴を良く捉えた「模範的新屋鹿嶋船」をイメージする素晴らしい出来栄えの図を提出してもらった。

(別添 デザイン図)

- (4) 製作部会として、以上とすることに一応の結論が得られた。平成26年2月17日(月)開催の「三役・各部代表者会議」に“模範的な鹿嶋船等について”と、議題に提案されたので、前述の資料を基に協議された。

「協議内容」

- ① 提案した「鹿嶋船」の型について、特に異論は無く概ね同意された。しかし、船上の搭載物等については「新屋鹿嶋祭り」に相応しくないとと思われる人形等が散見され一考を要する。(例：船主部に弁慶人形や船尾部に船頭が舵を操っている等)
- ② 船の制作にあたり、船型と展示場所については製作部会議はじめ、事業部会議、調査研究部会議でも協議されており、下記の3か所が候補として上がっている。
  - (1)日吉神社境内
  - (2)西部市民サービスセンター2階展示場(森川源三郎資料展)
  - (3)新政酒造跡地(展示倉庫)

- ・ 製作部会からは、提案した鹿嶋船について合意が得られれば、展示場所については全体会議に委ねたい。市民センターの展示とした場合、縮小サイズとなり船の制作見積りは約172,000円と算出している。
- ・ 事業部会からは、展示を考慮すると費用等から縮小サイズとなるのでは、その場合、できれば地域交付金を利用すべきである。又、新政跡地利用について検討するのは現段階では時期尚早なのは。
- ・ 調査研究部会からは、展示場所として上記3か所が検討されているが、折角、制作する船なので、安直に考えてイメージダウンとならない規模とすべきで、「国立歴史民俗博物館」展示の鹿嶋船を参考とすべきだ。

展示場所については、日吉神社境内となれば保管する建屋も必要となり費用が大きく嵩むことは必定である。市民サービスセンターでは、スペースや西部地区全体の中の新屋だけのスペースを要請するのも難しいのでは。「新政跡地」に建設予定の一部の場所を使用する方策が最適なのでは。

「結論」

- 1・ 鹿嶋船の型については、製作部会提案のとおりで概ね良いのでは。
- 2・ 船の大、小や展示場所、保管庫の要、不要等を考慮した場合、関連を含めば制作費用に大なちがいがある。費用が嵩めば、その分実現は遅くなり、場合によっては困難な場合も考えられる。現実的な選択をすべきなのは。
- 3・ 保存会の活動を広く、深く認識、理解してもらうためにも早期の実現が望ましい。

国立民俗博物館所蔵

(平成25年11月27日提供)

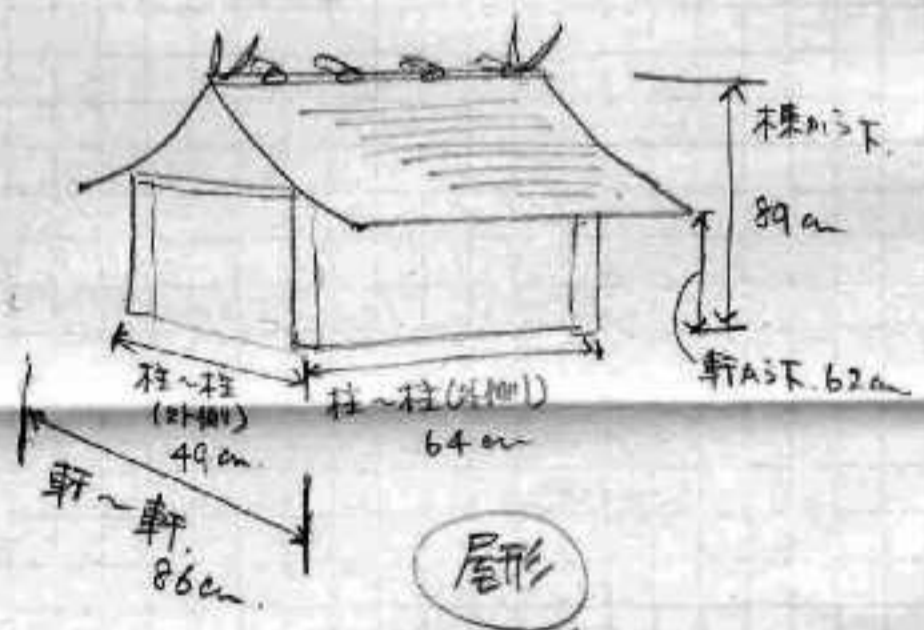
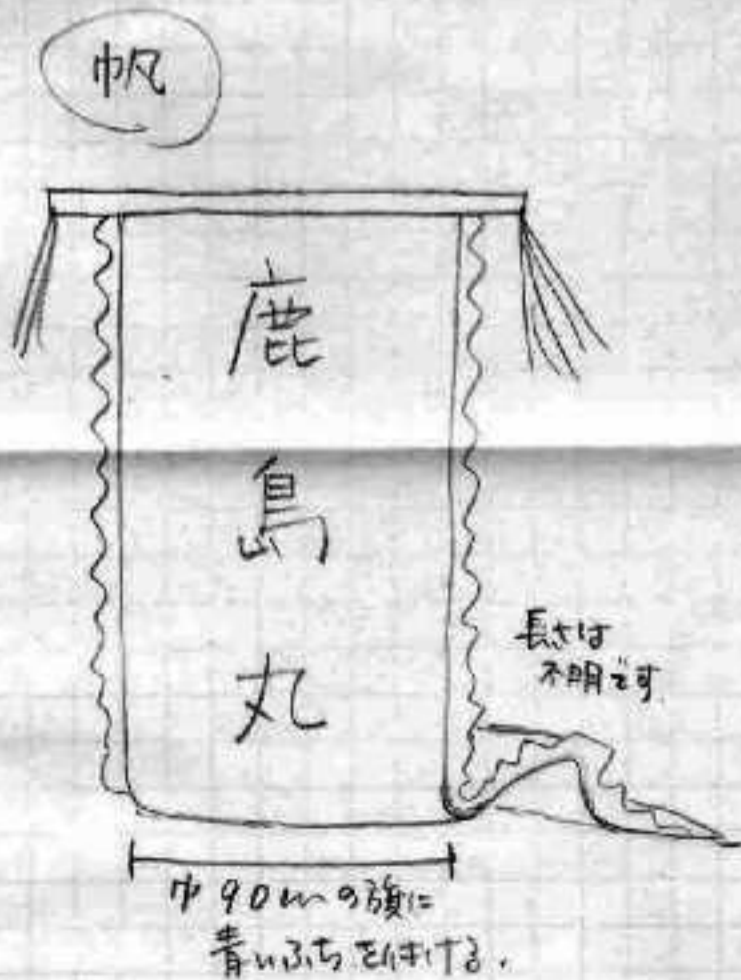
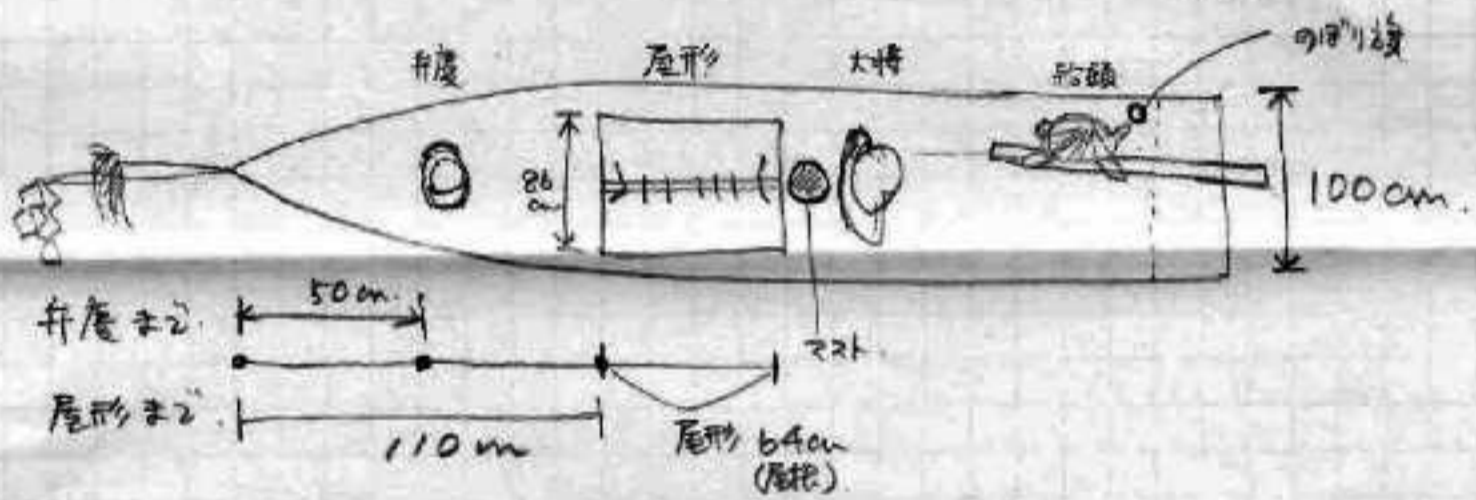
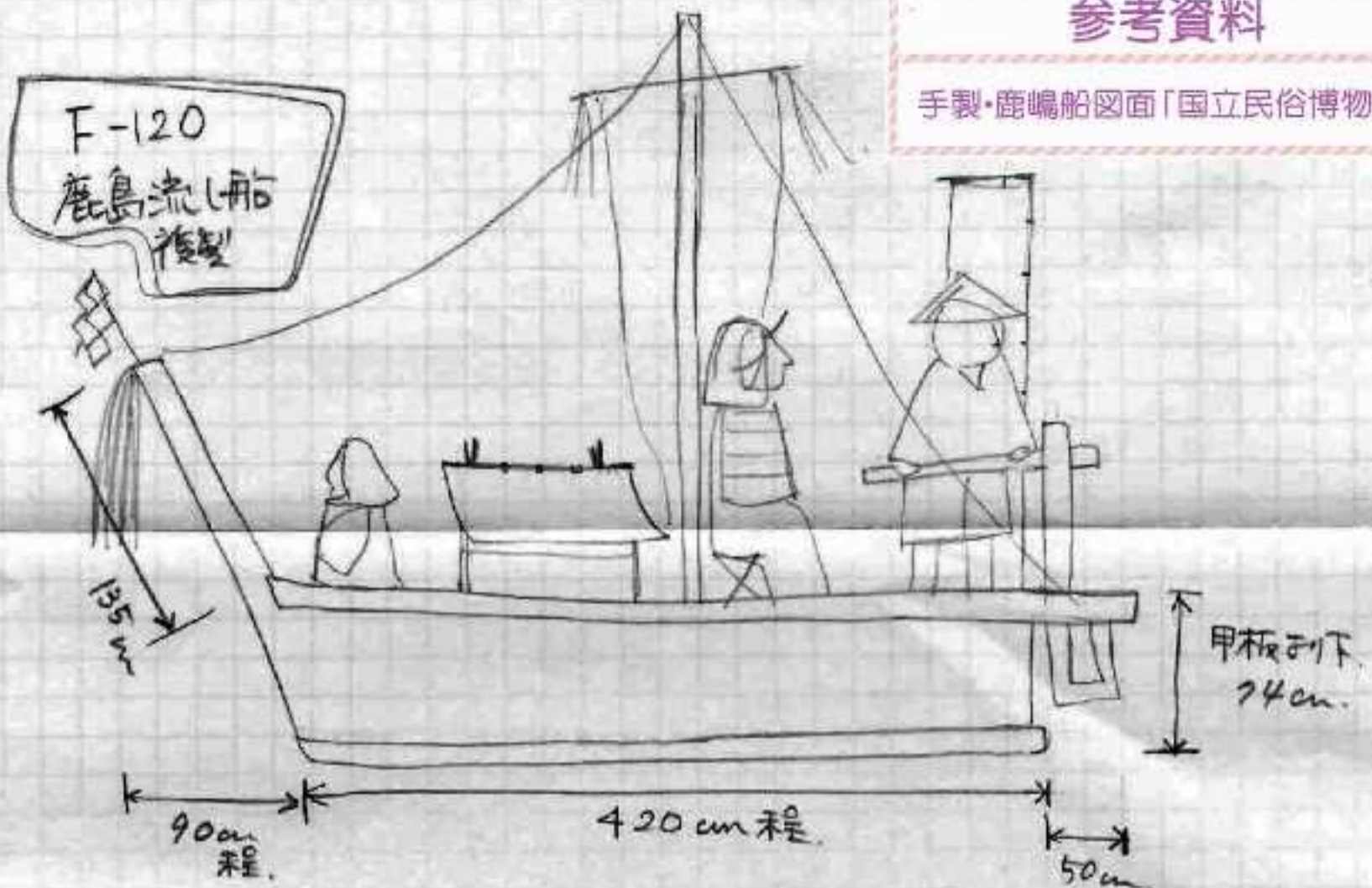
新屋鹿嶋祭り「鹿嶋船」

1



# 参考資料

手製・鹿嶋船図面「国立民俗博物館製作」



作図者

舩谷 博英 氏

作図日

平成 25 年 11 月





## 鹿嶋祭PRイベントについて（試案）

## 1 目 的

①鹿嶋祭のPR、②新政酒造跡地でのまちづくりPR、③地元と美大との連携強化

## 2 実施主体

新屋振興会、鹿嶋祭保存会、参画屋、ちゃぷちゃぷ大学等による実行委員会を想定

## 3 日 時

鹿嶋祭（平成26年6月8日）にあわせて実施

## 4 会 場

新政酒造跡地（隣接の渡幸宅の活用も検討）

## 5 タイムスケジュール

9:30頃 | 神社に入船開始



各鹿嶋船は適宜会場に立ち寄り、休憩・時間調整

- ①商店街・・・イベント会場にてジュース提供  
 ②ちゃぷ大・・・湧水を活用した飲物、とうふ、うどん提供等  
 ③小牟禮教授・・・ガラス作品の展示・提供、トンボ玉制作体験等  
 ④雄和・河辺他・・・農産物・山菜等の販売  
 ⑤十條化成・・・白神酵母パンの販売、PR  
 ⑥その他・・・フリマ、ケータリング協会による飲食物提供等



13:00頃 | 神社でのお祓い終了（一部の鹿嶋船は雄物川に）



? | 可能であれば決められた時刻に集合し記念撮影など



15:00頃 | イベント終了

## 6 経 費

地域づくり交付金の活用を検討

（交付決定および支払いは7月中旬以降のため、一時立替と継続的活動が必要）

## 7 その他留意事項

- ・参加団体による連絡協議議会方式も考えられるが、全体の調整・広報・補助申請等を行うメインの組織が必要。
- ・地域住民は鹿嶋祭に人手を取られるため、美大生等の協力は不可欠。
- ・鹿嶋祭関係者以外の参加を求めるとすれば、上記以外に目玉となるイベントが必要。
- ・新政跡地および湧水の活用については、所有者了解済み。
- ・雨天時も考慮し、隣接の渡幸宅を本部機能、展示機能として活用することも検討。